

元気はつらつ新聞

発行：元気はつらつプロジェクト委員会 平成 28 年 5 月 17 日発行

〒 696-0401 邑南町布施 496 布施公民館内

TEL・FAX 0855-84-0651 IP 050-5207-5600

<http://zenihou.com>

No.4

目次

- ・ベトナムからの留学生
- ・高野山にイロハモミジを植樹
- ・赤馬滝散策道に樹木チップ
- ・農業研修生が銭宝地区に
- ・町営住宅を建設中
- ・銭宝の里ウォーキングイベント
- ・地元出身者にアンケート
- ・技術と知恵の継承
- ・委員長挨拶
- ・今年度の活動計画

ベトナムから留学生が来ました

島根大学教育学部の研修生として日本の農山村について研究している、ベトナムからの留学生アインさんが3月3日から4月2日までの1か月間、銭宝地区に滞在しました。

アインさんはベトナムのハノイ大学で日本学部を卒業し、日本語がとても堪能でやさしい笑顔と心遣いができるとても素敵な方で、すぐに地域の方々に打ち解けていました。

滞在中は、家々を訪問し住民の方の話しを聞いたり、地域の行事に参加し地区の人との交流を深めました。農業の手伝いから、なめこの菌打ち、日本の伝統料理、炭焼き、座禅など日本の文化を沢山経験しました。

最終日の成果発表会では、アインさんの故郷であるベトナムの紹介と、銭宝地区での生活で得たこと感じたことを発表しました。銭宝地区では公民館が人と人とのつながりを助ける役割をしていること、地域の人から「人を大事に」する「座禅の心」を感じたと発表されました。発表している間も笑顔が絶えず、暖かい雰囲気の中でイン



ターニシップを終えました。

アインさんの滞在中には、昨年8月に銭宝地区に1か月間インターニシップとして滞在した、福井瑞紀さんが横浜から遊びに来られ、元気な姿を見せてくれました。

今年の夏も島根県中山間地域研究センターが主催している「夏休み学生地域づくりインターニシップ」を銭宝地区で受け入れる予定です。引き続き地域の皆さんのお力添えをどうぞよろしくお願いたします。



高野山に

イロハモミジを植樹

森林組合に伐採、地拵えをしてもらった高野山の南斜面に、昨年11月イロハモミジの苗木を植樹しました。

イロハモミジは高野山の北側斜面に植生していますが、南側斜面には紅葉する樹木が少ないため、今回背丈が1メートル程の苗木を50本植えました。

元気に大きく育って、秋には鮮やかな朱色が高野山を彩ってくれるのを心待ちにしています。

また、竹藪でうっそうとしていた南側の登山道入り口周辺も、元森林組合に勤めておられた地区の方に手伝っていただき、広場にして伐採した木でベンチも作ってもらいました。

高野山の頂上まで登るのが大変な方も、公民館側からの登山道入り口でのんびりできます。是非遊びにきてくださいね。



赤馬滝散策道に

樹木チップ



昨年、赤馬滝散策道を整備する際に、森林組合に滝の周辺の樹木も伐採してもらいました。滝の全景が見えやすくなり、少し薄暗かった滝周辺に光が多くなるようになったことで、晴れた日は水面や岩肌にも光が反射して、今まで以上に美しい空間になりました。

その際に伐採してもらった木を、今年の3月に樹木粉碎机でチップにして赤馬滝への道に敷き詰めました。チップにした木片がほのかに香り、景観も明るくなりました。光が多く入るようになったせいも、ぜんまいも多く見かけました。

散策道を登って行くと、大きく開けた視界から、眼下に流れる上段の滝を眺めることができ、川面まで下りたくなる衝動に駆られます。昔は子供たちが下まで降りて水遊びをしたそうです。

ひと昔前まで子ども達の遊び場だった野山、現代の子供たちにもその楽しさを体感してもらいたいです。

農業研修生が

銭宝地区に

地域協力隊の農業研修生として2年前から邑南町で働いている、広島から移住された西森さんが、今春より銭宝地区でトルコキキョウを中心とした花の栽培をすることになりました。現在は布施公民館向かいのビニールハウスを借りて栽培していますが、来年からは八色石集落の農地を使い、空き家を改修して本格的に銭宝地区に移住されます。

どうぞよろしくお願いたします。

.....

町営住宅を建設中



布施1集落の郵便局向かいに、町営住宅を2戸現在建設中で、今秋完成予定です。

銭宝地区に新しい仲間が増えます。とても楽しみにしています。

銭宝の里ウォーキングを計画中

「つながり・絆づくり」、「行ってみたくなるような場づくり」、「若い人が住みやすいイメージ作り・住んでいる人の満足感を高める」をテーマに事業をすすめてきた元気はつらつプロジェクトですが、5年目である今年で最終年度となります。

テーマの一つである「行ってみたくなる場づくり」では、高野山の登山道整備と展望台設置、赤馬滝の散策道整備と休憩所のリニューアルなどを行ってきましたが、今年度は龍岩神社の参道整備を行い、平成24年度から里山保全として整備を進めてきた、この3つの景勝地を結ぶウォーキングイベントを10月22日（土）に計画しています。

子どもから年配の方まで、幅広い年齢層が参加できるよう、距離が短いコースから、歩きごたえのある登山道コースまで3種類用意し、地区・町内の方はもちろん遠方からも参加を募る予定です。また、新米が採れる時期ですので、銭宝地区の秋の味覚も味わってもらえるよう、



地元出身者の方にアンケート

「つながり・絆づくり」をテーマに、元気はつらつプロジェクトが始まった平成24年度から続けてきた、出身者の方への便りの発送。今年はプロジェクトの最終年度ということで、プロジェクトの活動についてやUターンの意向、また今年度から地域別戦略として進めようとしている地域運営組織立ち上げに関することも含め、出身者の方にアンケートに答えていただきました。（別紙参照）

子どもから年配の方まで、幅広い年齢層が参加できるよう、距離が短いコースから、歩きごたえのある登山道コースまで3種類用意し、地区・町内の方はもちろん遠方からも参加を募る予定です。また、新米が採れる時期ですので、銭宝地区の秋の味覚も味わってもらえるよう、

年に4回ほど出身者の方に送る公民館だよりや地域の便りから、地元の様子を知り、故郷への思いを強くされた方もおられるかもしれません。また現在計画中である、銭宝地区の米や野菜、加工品などを小包にして送る「ふるさと宅急便」や、地域運営組織の資金を集めるための「ふるさと寄附」などの案にもご回答いただきました。沢山の方から貴重なご意見や暖かいお言葉もいただき、ありがとうございました。プロジェクトは今年度で終わりますが、次のステップに向けて、地域の皆さんと地元出身者の方々のご協力のもと、地域づくりを進めていきたいと思っ

昔からの知恵を次の世代へ

銭宝地区には、伝統料理をはじめ、手に技を持っている方が多くいらっしゃいます。押しずし、漬物、豆腐やこんにやく作り、また炭焼き、わら草履や竹細工などの昔から伝わる料理や技術から、指物大工の専門的な技術薬になる野草などの生活の知識まで、現在では作ることができない人、知っている人が数少なくなってきたものも多くあります。

今春から、地域の人たちが総がかりで地域の子どもたちを育てる、体験活動を通してふるさとを学ぶ地域学校が開校します。昔から伝わってきたモノづくりの技術や生活の知恵を残される次の世代に伝えていただきたいと思っています。

年々4回ほど出身者の方に送る公民館だよりや地域の便りから、地元の様子を知り、故郷への思いを強くされた方もおられるかもしれません。また現在計画中である、銭宝地区の米や野菜、加工品などを小包にして送る「ふるさと宅急便」や、地域運営組織の資金を集めるための「ふるさと寄附」などの案にもご回答いただきました。沢山の方から貴重なご意見や暖かいお言葉もいただき、ありがとうございました。



昨年の地元出身者との交流登山の様子（高野山展望台にて）

新年度から自治会長の交代により、元気はつらつプロジェクトの委員長が前任の岡本和幸さんから、新しく竹崎巨さんに代わります。

ごあいさつ

新緑の色増す時期となり、皆さん農作業などにお忙しいことと思います。元気はつらつプロジェクトも5年目の最終年を迎えることになりました。過去4年間にはいろいろな行事やイベント、それに景観の整備などが行われ、各集落の皆さんや町外に出でおられる出身者の方、また他地区の皆さんにも参加していただき、親睦を深めるとともに思い出も多々つくっていただきました。

さて、残るこの1年は、そうした中でこれからも引き継いでいくものと、今後に向かって新たなテーマとして掘り起こしていくものなど区切りの年となりそうです。

元気で明るい楽しい集落をつくりあげていくために、皆さんのお力添えがあったればこそのこととおもいます。どうか今後ともご協力のほどをよろしくお願いいたします。

元気はつらつプロジェクト委員長
竹崎 巨



プロジェクト今年度の活動計画

つながり・絆づくり

- ・布施地区の様子を情報発信
- ・地元出身者との交流
- ・夏休み学生地域づくりインターンシップの受け入れ

里山を守る

- ・高野山の登山道整備
- ・赤馬滝の散策道と清流水の取水整備
- ・龍岩神社参道の整備
- ・銭宝の景勝地巡りウォーキングの開催

若者が住みやすい地域

- ・若者世代、女性グループとの意見交換

住民の満足感を高める

- ・オープンカフェ、コンサートの開催
- ・地域の福祉活動の充実
高齢者の見守り体制整備・たまり場の確保
邑南町、社会福祉協会との連携

農林振興

- ・農業者の受入（農地調査・所有者の意向確認）
- ・住宅の確保（空家調査・所有者の意向確認
町営住宅入居者との情報交換）

6次産業の開発

- ・ふるさと宅急便

新たな地域づくり

- ・地域経営事業のサポート
- ・邑南町アグリサポーターとの連携